

# 尾張平野を語る 19

## 歴史的建造物の保存と活用・再生



一宮市木曾川資料館

一宮市は濃尾平野の木曾川中流域左岸に位置し、古くは縄文時代の中ごろから人々が暮らしはじめ、現在までさまざまな文化を育みながら尾張の歴史と文化の一端を担ってきました。

一宮市博物館では、これまで自然・考古・民俗・歴史・美術工芸などさまざまな分野の講師をお招きし、尾張平野の歴史と文化を紹介してきました。

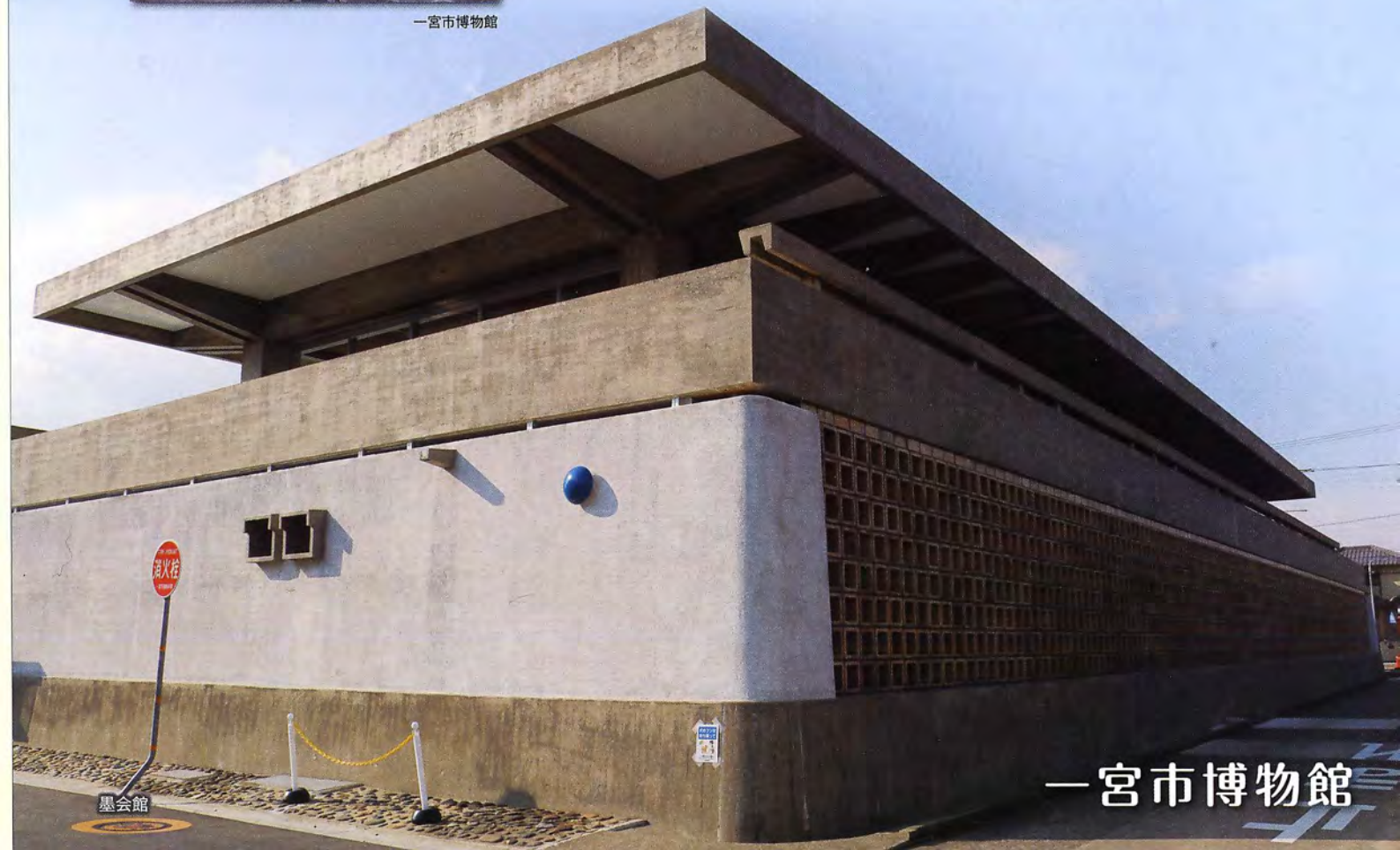
19回目となる今回は、一宮市にもいくつか残る歴史的建造物の保存や活用・再生を考える機会としたいと思います。



一宮市博物館



一宮市尾西歴史民俗資料館別館(旧林家住宅)





# 尾張平野を語る 19

## 歴史的建造物の保存と活用・再生

一宮市内にも、国・県・市の指定文化財や国登録有形文化財をはじめとする歴史的建造物がいくつか残されています。しかし、江戸時代の街道「美濃路」沿道などのほかは、一帯となつて残っている場所はほとんどなくなり、単独で残っている場合が多くなってきました。ただ単に歴史的に価値のある建造物を保存するのではなく、まちづくりの全体の中で景観形成とともに保存と活用・再生が求められています。今回は、建造物の内装や外装を含め、歴史的建造物の保存と活用・再生を中心に3人の専門家の講演会を開催します。

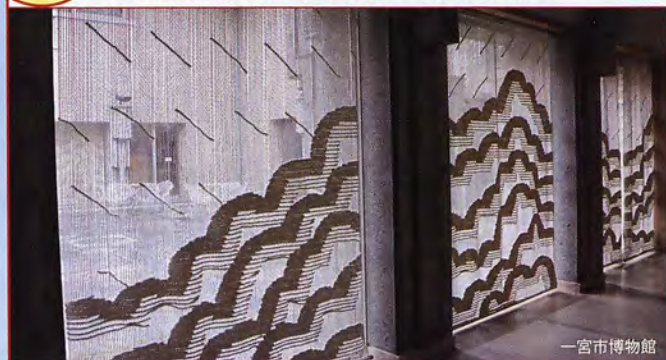


一宮市尾西歴史民俗資料館別館(旧林家住宅)

2/15  
(日)

### 建造物とインテリアデザイン

文化学園大学名誉教授 内井乃生氏



一宮市博物館

2/22  
(日)

### 文化財建造物の価値と改修

(株)文化財構造計画 代表取締役 富永善啓氏



県会館

3/1  
(日)

### 歴史的建造物の保存と再生

名古屋工業大学大学院准教授 是澤紀子氏



旧湊屋店舗兼主屋

- ☐ **時 間** 午後1時30分～3時
- ☐ **場 所** 一宮市博物館 講座室
- ☐ **定 員** 各回100名(先着順)
- ☐ **料 金** 無料(ただし、観覧料が必要)
- ☐ **申し込み方法**  
博物館受付で当日正午より  
整理券を配付します。

【休館日】 毎週月曜日、祝日の翌日

【開館時間】 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

【観覧料】

一般200円(160円)、高校・大学生100円(80円)、  
小・中学生50円(40円)

※( )内は20人以上の団体料金

※一宮市内小・中学生は無料、市外小・中学生は土曜日無料

※一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の  
証明書等を提示された方は無料

※身体障害者等の手帳を持参の方(付添人1人を含む)は無料

## 一宮市博物館

〒491-0922

一宮市大和町妙興寺2390番地

TEL.0586-46-3215

FAX.0586-46-3216

URL <http://www.icm-jp.com/>

交通/名鉄名古屋本線「妙興寺」駅下車南口より徒歩約7分  
ニコニコふれあいバス「博物館西」下車徒歩約5分

